

会員だより

地域のための道路工事を目標して!

今回は弊社にて平成 27 年 3 月に完了した平成 25 年度与那原地区下部工(A1)外 1 件工事(沖縄総合事務局発注)について紹介します。

この工事は、与那原バイパス道路事業の関連工事であり、国道 329 号の与那原町周辺の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、那覇市へのアクセス強化など幹線道路網の形成を目的とする道路です。

工事を行う上で、施工計画段階より与那原バイパスの完成を待ち望んでいる地域の声をよく耳にしたため、本工事では「地域とのコミュニケーションを積極的にを行い、地域と密着した、地域のための工事」を工事目標の一つに掲げ、工事を進めてきました。

その一環として、伝統行事である与那原大綱引きの綱作りに参加し、汗を流しながら近隣住民の皆さんとコミュニケーションを深めるとともに、町道沿いの美化活動や交通安全看板の寄贈、拝所への歩道整備などの活動を行い、地域貢献に積極的に取り組みました。



与那原大綱引きの綱作り!

株式会社 豊神建設 代表取締役社長 上原 進



交通安全看板の寄贈!

現場だよりを掲示!

また、「現場だより」として広報誌を作成し、公民館などに掲示しました。「現場だより」には工事の進捗状況や将来の完成予想図の掲載、地域貢献への取り組み状況の報告なども掲載し、広報誌を通して工事現場に対するイメージアップ及び公共事業への理解に努めました。

社会貢献や地域とのコミュニケーション活動により、建設工事へのイメージアップがなお一層、向上できれば幸いです。

また、与那原バイパスの事業に携わる事ができ、大変光栄であったとともに、今後、地域のための与那原バイパス道路が一日も早く全線供用できる事を願っています。



【現場代理人 江洲 大樹】

会員だより

集落結ぶ二橋梁が完成!

国頭村の行政の中心地「辺土名」を北へ過ぎると「伊地」の部落に着きます。部落の真ん中を伊地川が貫流し、流域は「砂防地区」に指定されるなど東西に急峻な地形となっています。この川の両岸に 65 軒ほどの集落が発達し約 200 人の住民が生活を営んでいます。

この度、弊社はこの集落間を結ぶ二橋、村道「伊地線伊地第二橋」と「伊地満川線満川橋」の架替工事を施工いたしました。この二橋は両橋ともに昭和 53 年架設の橋梁で、経年による老朽化が著しく上部工の架替とともに、下部工の一部の補修を実施しました。工事期間中は 5 ヶ月間の全面通行止めとなり、住民は迂回路の通行を余儀なくされるなど不便をお掛けし、両橋の早期の完成が待ち望まれていました。両橋の橋名版は、集落に住む小学生 8 名にお願いし平成 27 年 3 月 10 日、無事完成しました。

有限会社 北勝建設 代表取締役社長 新里 勝則



満川橋から集落へ渡る!



伊地第二橋の銘板!



満川橋の銘板!

自分たちが作成した橋名版を囲んで、喜ぶ集落の小学生たち!

活動報告・トピックス



①第103回 道路美化・清掃活

はやくも春を感じる風!

3月17日(火)に、15社、19名の参加を得て第103回道路美化清掃活動を行いました。

当日は、ほど良い天気で作業中は汗ばむほどでした。清掃箇所近くの、奥武山公園・セルラー球場付近は、中国人観光客や、付近を散歩する人もいて、春の気配を楽しんでいる様子がかがえましました。



春の風を感じ、いい汗だった!

宮古島の新名所・伊良部大橋

企画・広報委員長 石垣 永健

今年1月31日に開通した伊良部大橋が2か月を迎えます。私も開通後初めて通ってみました。やはり観光客が多く、橋の入り口や、伊良部島の観光名所は、タクシーやレンタカー・観光バスでいっぱいでした。

宮古島では、池間大橋(全長1,425m 1992年2月開通)・来間大橋(全長1,690m 1995年3月開通)そして伊良部大橋(全長3,540m)と3つ目の大橋となりました。

伊良部大橋の魅力はその長さでしょう。コバルトブルーの海の上をゆっくりと走ると気分爽快になります。

今年の第31回全日本トライアスラン宮古島大会(4月19日開催)



伊良部大橋入口

参加者・応援者も

今月の予定

- ①第1回正副委員長会議 支部会議室
4月17日(金)11:00~13:00
- ②会計監査 支部会議室
4月21日(火)14:00~15:00
- ③第104回 道路美化・清掃活動
前半グループ 4月21日(火)10:00~
- ④第1回幹事会 支部会議室
4月28日(火)12:00~13:00

今月の気になるニュース

ワンコインでガン診断?

皆さんもすでに目にしたと思いますが、寄生虫のアニサキスなどで知られる線虫を使った尿の検査で、ガンが見つかるという驚きのニュースがありました。発表したのは九州大学の研究グループで、なんと1滴ばかりの尿でガンの匂いを見分けるということです。判別するのは、体長数ミリの線虫で、犬と同等の1200種の臭覚受容体を持ち、匂いを感じる仕組みもほ乳類とほぼ同じで臭覚研究のモデル生物になっているということです。

研究グループの広津助教らは、生物実験で一般的に使われる体長数ミリの線虫50から100匹を実験皿の中央に置き、皿の隅に人の尿を数滴、垂らす実験を242人分に繰り返しました。その結果、線虫は数十種類のガンに反応し、ガンのある24人の尿のうち23人分(95.8%)に近寄り、健康な人の尿218人では207人分(95.0%)で遠ざかったということです。

新たに開発した線虫を用いた検査方法であれば、費用は検査1回で数百円程度で、腫瘍マーカーの検査が1回数千円以上かかるのに比べれば、コスト面で優れています。広津助教(神経科学)は「この技術を実用化すれば、ガン検診受診率の飛躍的向上とそれによる早期ガン発見率の上昇、ガンの死亡者数の激減、医療費の大幅な削減が見込まれる。」と説明しています。



夕日のきれいな渡口の浜

ますます魅力を感じることでしょう。伊良部大橋開通により、旅行者の増加が見込まれる一方、観光地の整備遅れを指摘する声も少なくありませんが、サラサラパウダー砂の「渡口の浜」下地島の神秘的な「通り池」など、本当にきれいな場所がたくさんあります。